

岩手県企業短期経済観測調査結果（2012年12月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の68社
- 回答率97.1%（回答数66社、うち製造業26社、非製造業40社）
- 回答期間 11月13日～12月13日

1. 業況判断指数（D.I.）

調査対象先の業況判断指数（全産業）は、前回調査（9月）に比べ、わずかながら改善し（前回16→今回17）、1991年以来21年振りの水準を維持した。

業種別にやや詳しくみると、製造業では、輸出関連業種（電気機械、各種機械製造）が海外需要の減少等から悪化したものの、食料品が被災設備の復旧等から改善したため、全体では「悪い」超幅が縮小した（前回▲20→今回▲12）。

非製造業では、震災特需の剥落から小売のプラス寄与が解消したため、全体のプラス幅もやや縮小したが、建設関連（建設、鉱業、建設卸、設計等）の好調持続を背景に、引続き大幅な「良い」超となった（前回38→今回35）。

先行きについては、非製造業・卸売における競争激化を背景としたプラス寄与解消（指数押下げ要因）を、製造業・輸出関連業種における業況底入れ期待（指数押上げ要因）がオフセットする格好で、全産業では、引続き21年振りの高い水準を維持できるとの見通し（今回17→来年3月予測15）。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	11/9月	12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月 (予測)
製造業	▲22	▲4	0	0	▲20	▲12(▲19)	▲3
素材業種	▲37	▲14	14	29	15	15(15)	29
加工業種	▲16	0	▲5	▲10	▲31	▲21(▲32)	▲16
食料品	▲20	0	▲40	▲40	▲80	▲20(▲20)	▲20
電気機械	▲16	▲16	▲16	▲16	▲17	▲33(▲50)	▲33
非製造業	9	25	29	40	38	35(31)	27
建設	26	33	40	47	50	50(43)	50
卸・小売	10	50	40	40	50	40(30)	0
全産業	▲3	14	19	25	16	17(12)	15

2. 売上高・経常利益（2012年度見通し）

2012年度の売上高は、製造業では海外需要の減少を映じて輸出関連業種中心に前年を下回るものの、非製造業が建設関連需要の一段の増加を主因に前年を上回ることから、全産業でも前年を小幅上回る見通し。

2012年度の経常利益は、製造業における赤字転化を、非製造業の増益がカバーし切れず、全産業でも前年に比べて大幅な減益となる見通し。

なお、前回調査に比べ、売上高・経常利益とも、製造業は下方修正、非製造業は上方修正となった。

— 前年同期比・%、[]：前々年同期比・%、()：前回調査比修正率・%

	2011年度(実績)		2012年度(見通し)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	▲15.4	利益	▲6.3	▲6.6	▲5.9	欠損	▲91.9	欠損
			[▲20.7]	[▲22.2]	[▲19.1]	[欠損]	[▲91.5]	[欠損]
			(▲3.1)	(▲1.1)	(▲5.0)	(赤字転化)	(黒字転化)	(赤字転化)
非製造業	3.9	2.1倍	8.4	13.8	4.1	13.5	9.9	15.2
			[12.6]	[16.8]	[9.3]	[2.4倍]	[27.0倍]	[63.7]
			(2.1)	(2.4)	(1.8)	(10.1)	(13.9)	(8.5)
全産業	▲6.3	7.5倍	1.4	3.2	▲0.2	▲34.6	▲46.2	▲24.7
			[▲5.0]	[▲5.5]	[▲4.4]	[4.9倍]	[▲0.9]	[利益]
			(▲0.2)	(0.7)	(▲1.1)	(▲24.1)	(75.5)	(▲43.5)

3. 設備投資額（2012年度計画）

2012年度の設備投資は、震災復旧対応投資や国際競争力強化のための合理化投資のほか、一部に復興需要を展望した投資もみられ、前年を上回る計画。

もともと、半期ベースでみると、震災復旧対応投資が年度上期をピークに減少に転じたほか、製造業では足許の業績不振を眺めて投資計画を下方修正する動きがみられ始めている。

(ソフトウェア投資を除くベース)

— 同上

	2011年度(実績)	2012年度(計画)		
		年度	上期	下期
製造業	32.2	24.4	90.2	▲32.2
		[64.5]	[98.4]	[16.5]
		(▲19.9)	(▲10.8)	(▲35.7)
非製造業	13.4	16.5	98.4	▲27.2
		[32.1]	[95.8]	[▲10.2]
		(5.0)	(14.1)	(▲5.9)
全産業	26.3	22.2	92.1	▲30.6
		[54.3]	[97.7]	[6.0]
		(▲14.4)	(▲6.0)	(▲28.0)

(参考1) 各種判断 D.I 指標の推移

—— 回答社数の構成比・%ポイント、() 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 D.I. (全産業ベース)

		11/9月	12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超」—「供給超」	▲ 6	▲ 8	2	▲ 1	▲ 6	▲11(▲ 3)	▲ 5
製商品在庫	「過大超」—「不足超」	▲ 6	▲ 3	▲ 5	▲ 1	8	6(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	24	15	26	15	12	17(25)	20
販売価格		▲ 2	2	1	▲ 3	▲ 4	▲ 3(1)	0

(2) 生産・営業用設備判断 D.I. (「過剰」—「不足」)

	11/9月	12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月 (予測)
製 造 業	▲15	▲15	▲23	▲19	▲ 8	0(▲ 7)	▲ 3
非 製 造 業	▲ 9	▲15	▲12	▲ 9	▲19	▲10(▲15)	▲12
全 産 業	▲11	▲16	▲16	▲13	▲15	▲ 6(▲12)	▲ 9

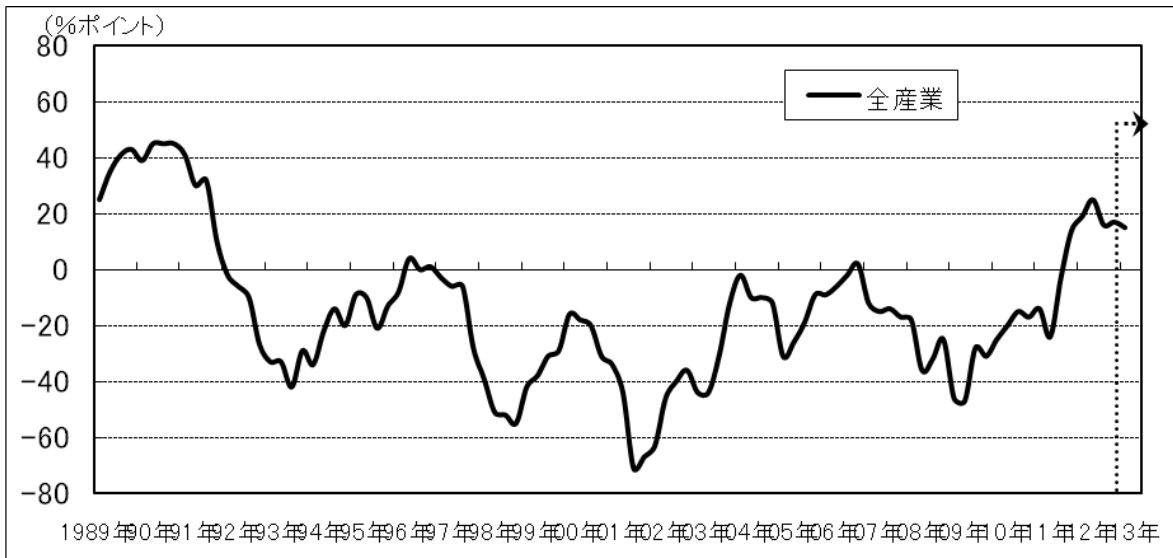
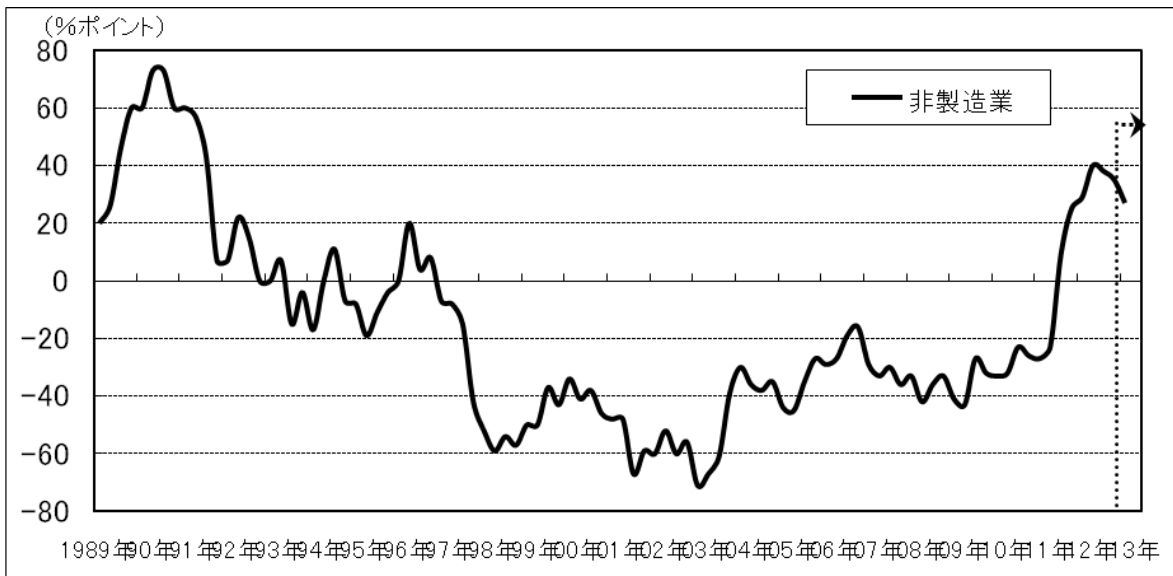
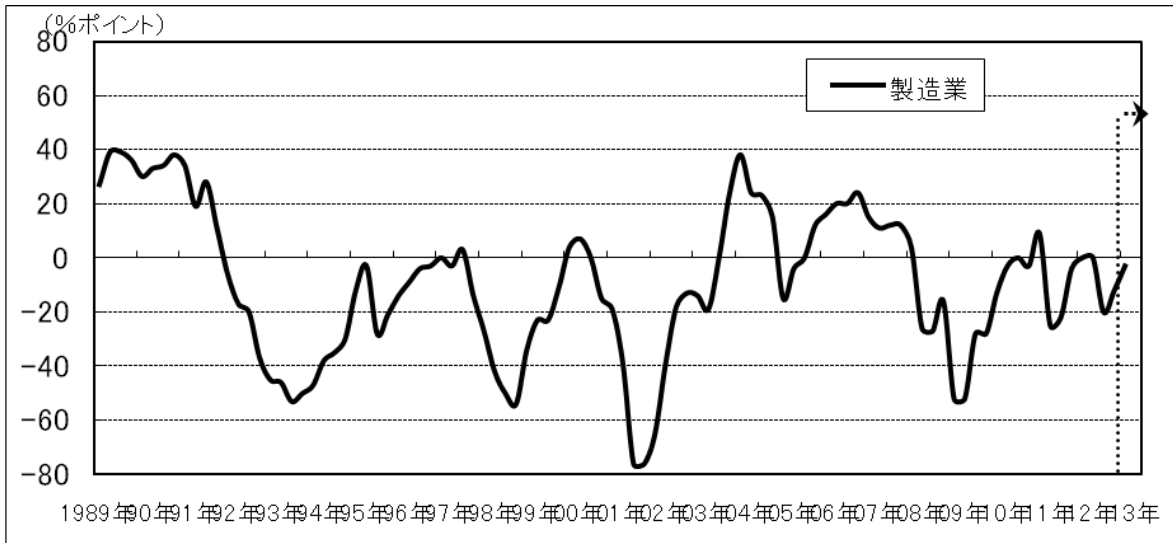
(3) 雇用人員判断 D.I. (「過剰」—「不足」)

	11/9月	12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月 (予測)
製 造 業	11	11	0	▲ 4	4	3(4)	7
非 製 造 業	4	▲ 3	▲ 2	▲ 2	▲10	▲25(▲16)	▲25
全 産 業	7	3	▲ 1	▲ 3	▲ 5	▲13(▲ 9)	▲12

(4) 企業金融関連判断 D.I. (全産業ベース)

		11/9月	12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月 (予測)
資金繰り	「楽」—「苦しい」	▲15	▲ 9	▲ 6	▲ 4	▲ 4	▲ 7(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	▲ 3	▲ 3	5	10	10	9(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	▲ 3	0	▲ 8	▲ 4	▲ 7	▲ 5(▲ 6)	2

(参考2) 岩手県の業況判断D.I.の推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断D.I.の推移

()内は前回予測

		11/9月	12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月 (予測)
製造業	全国	▲ 5	▲ 5	▲ 7	▲ 8	▲ 8	▲ 15 (▲ 12)	▲ 20
	東北	▲ 4	1	▲ 3	▲ 4	▲ 8	▲ 10 (▲ 11)	▲ 19
	岩手	▲ 22	▲ 4	0	0	▲ 20	▲ 12 (▲ 19)	▲ 3
非製造業	全国	▲ 12	▲ 7	▲ 5	▲ 3	▲ 3	▲ 6 (▲ 9)	▲ 12
	東北	▲ 4	5	10	14	12	11 (0)	▲ 1
	岩手	9	25	29	40	38	35 (31)	27
全産業	全国	▲ 9	▲ 7	▲ 6	▲ 4	▲ 6	▲ 9 (▲ 10)	▲ 15
	東北	▲ 4	3	5	7	4	2 (▲ 4)	▲ 8
	岩手	▲ 3	14	19	25	16	17 (12)	15

(参考4) 東北各県の業況判断D.I.の推移

()内は前回予測

		11/9月	12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月 (予測)
全産業	岩手	▲ 3	14	19	25	16	17 (12)	15
	青森	▲ 4	0	▲ 1	8	7	0 (▲ 1)	▲ 4
	宮城	3	20	18	16	8	11 (1)	▲ 2
	秋田	▲ 10	▲ 9	▲ 7	▲ 5	▲ 13	▲ 11 (▲ 16)	▲ 17
	山形	▲ 2	▲ 11	▲ 6	▲ 4	▲ 10	▲ 7 (▲ 12)	▲ 22
	福島	▲ 4	6	12	2	7	6 (▲ 2)	▲ 6

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所

TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>